

うるま市障がい福祉に関する アンケート調査結果報告書

令和5年3月

● ○ ● ○ ● ○ 目 次 ○ ● ○ ● ○ ●

■ 調査項目 ■	1
■ 調査概要 ■	7
1. 調査の目的	7
2. 実施主体	7
3. 調査対象者、抽出方法	7
4. 配布方法	7
5. 調査期間	7
6. 回収状況	8
7. 集計について	8
■ 在宅の身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者調査結果 ■	11
1. 基本的なことについて	11
2. 障がいの状況について	24
3. 住まいや暮らしについて	29
4. 日中活動や就労について	36
5. 障害福祉サービス等の利用について	64
6. 相談相手について	73
7. 障がいの理解や権利擁護について	80
8. 災害時の避難等について	89
9. その他	101
■ 在宅の障がい児調査結果 ■	105
1. 子どもの基本的なことについて	105
2. 障がいの状況について	106
3. 家族や介助者について	113
4. 保育・療育・教育について	126
5. 障がい児の福祉サービス等利用について	134
6. 住まいについて	137
7. 外出について	138
8. 災害時の避難について	139
9. 権利擁護について	142

10. 地域での暮らしについて	144
-----------------	-----

■ 在宅の医療的ケア児調査結果 ■ 151

【障がい児共通調査】	152
1. 子どもの基本的なことについて	152
2. 障がいの状況について	153
3. 家族や介助者について	158
4. 保育・療育・教育について	167
5. 障害福祉サービス等利用について	174
6. 住まいについて	177
7. 外出について	178
8. 災害時の避難について	179
9. 権利擁護について	181
10. 地域での暮らしについて	183
【医療的ケア児への調査】	187
1. 医療的ケアを受けた年齢	187
2. 医療的ケアが必要となった理由	187
3. 現在、治療中の疾病名	188
4. お子さんの現在の生活状況	189
5. 一部介助が必要なもの	189
6. 現在利用しているサービス	190
7. 計画相談員の利用有無	190
8. サービス等の利用状況	191
9. 医療的ケアの実施者の状況について	194
10. 災害への備えについて	197

■ 施設入所者調査結果 ■ 201

1. 基本的なことについて	201
2. 障がいの状況について	203
3. 住まいや暮らしについて	206
4. 障害福祉サービス等の利用について	209

■ 一般市民 調査結果 ■ 213

1. 回答者の属性	213
2. 障がい者の問題や福祉への関心	213
3. 関心を持つきっかけ（複数回答）	214

4. 身近に障がい者がいる方（複数回答）	215
5. 障がい者との交流	216
6. 講座や講演会などの意向	217
7. 交流の場についての意向	218
8. ボランティア活動の意向	219
9. ボランティア活動の必要性	220
10. 障がいの理解度	222
11. 声かけ・手助け	223
12. 障がい福祉に関する用語	225
13. 差別・偏見	226
14. 理解を深めるために必要なこと	228
15. 地域・社会参加のために大切なこと（複数回答）	229

■ 調査から見る現状や課題の整理（計画策定の資料として） ■ …… 233

§ 施策分野1 差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止	233
・権利擁護の認知度	233
・差別を受けたこと	233
・差別を受けた場所	233
・市民の障がい者問題や福祉への関心	234
・障がいに関心を持つきっかけ	234
・障がい者への手助け	234
§ 施策分野2 保健・医療の推進	235
・発達障がいと診断されたこと	235
・現在受けている医療的ケア	235
§ 施策分野3 自立した生活の支援・意思決定支援の推進	236
・相談先	236
・障害福祉サービスの利用状況と利用意向 ※下線は前回調査と共通	236
・地域生活支援事業等の利用意向	237
・地域で生活するために必要な支援	237
§ 施策分野4 情報アクセシビリティの向上と意思疎通支援の充実	238
・情報のアクセシビリティ	238
・情報の入手方法	238
§ 施策分野5 教育の振興	238
・参加を希望しながら、利用できなかった活動	238
・保育・療育・教育に望むこと	238
§ 施策分野6 雇用、就業、経済的自立の支援	239
・就労の状況	239

・就労意向	239
・職業訓練の受講の意向	239
・障がい者の就労支援で必要なこと	239
§ 施策分野7 文化芸術活動、スポーツ等の振興	240
・今後してみたい活動	240
§ 施策分野8 安全安心な生活環境の整備	241
・住まいについて	241
・外出頻度	241
・外出時の同伴者	241
・外出の目的	242
・外出時に困ること	242
§ 施策分野9 防災、防犯等の推進	243
・災害時の避難	243
・近所に助けてくれる人はいるか	243
・災害時に困ること	243

<障がいと障害の表記について>

障害の「害」には、「悪いこと」「わざわざ」などという意味があり、人を表す際に「害」を用いるのは、人権を尊重する観点からふさわしくないと考えます。本計画書では、基本的に（人を修飾する場合）「障がい」と表記し、国の法令等に基づく制度や施設名、または法人、団体名等の固有名詞については「障害」と表記しています。

調査項目

■ 調査項目 ■

【身体・知的・精神障がい者調査】

<p><基本属性等></p> <ol style="list-style-type: none">1. 調査票の回答者2. 年齢3. 性別4. 地域5. 同居6. 日常生活ADL7. 介助者は誰か8. 介助者の年齢、性別、健康状態、同居の有無 <p><障がいの状況について></p> <ol style="list-style-type: none">9. 身体障害者手帳所持状況、等級10. 身体障がいの部位11. 療育手帳の所持、判定12. 精神障害者保健福祉手帳の所持、等級13. 難病の有無14. 発達障がいの診断経験15. 日常的に医療的ケアを受けているか16. 医療的ケアの内容 <p><住まいや暮らしについて></p> <ol style="list-style-type: none">17. 現在の暮らし18. 将来、どのように暮らしたいか19. 地域生活で必要な支援20. ボランティアに手助けを頼みたいこと <p><日中活動や就労について></p> <ol style="list-style-type: none">21. 外出頻度22. 外出の際の同伴者23. 外出の目的24. 外出の際に困ること25. 今後してみたい活動26. 日常生活での孤独感27. 日中の主な過ごし方28. 就労している方の勤務形態29. 今後収入を得る仕事をしたいか30. 収入を得る仕事をしてきたか31. 収入を得る仕事をしていた期間	<ol style="list-style-type: none">32. 収入を得る仕事を辞めた理由33. 職業訓練を受けたいか、希望する訓練34. 障がい者の就労支援に必要と思うこと <p><障害福祉サービス等の利用について></p> <ol style="list-style-type: none">35. 障がいの程度区分36. 障害福祉サービスの利用状況と利用希望37. 障害福祉サービスの利用に関して困っていること38. 福祉サービスの利用状況と利用希望 <p><相談相手について></p> <ol style="list-style-type: none">39. 悩みや困り事の相談相手40. 生活の中で不安や悩んでいること41. 障がいやサービスの情報の入手方法42. 普段、気持ちの落ち込みなどあるか43. 落ち込んだ時の気分転換方法44. 相談したり、気軽に話せる人（場所） <p><障がいの理解や権利擁護について></p> <ol style="list-style-type: none">45. 差別等の経験46. 差別を受けたところ47. 障がいのある方に対する市民の理解48. 障がい者に対する理解を深めるために必要なこと49. 成年後見制度の周知度 <p><災害時の避難等について></p> <ol style="list-style-type: none">50. 災害時についての関心度51. 一人で避難できるか52. 近所に助けてくれる人はいるか53. 災害時の避難場所が近くにあるか54. 災害時に困ること55. 避難行動要支援者名簿を普段から共有することへの同意についてどう思うか56. 名簿の共有についてよく思わない理由 <p><その他></p> <ol style="list-style-type: none">57. 障がい者施策として力を入れてほしいこと
---	---

【障がい児調査】

<p><基本属性等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査票の回答者 2. 性別、年齢 3. 地域 <p><障がいの状況について></p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 障害者手帳所持状況、等級、判定 5. 発達障がいの診断の有無 6. 発達障がいの診断名 7. 発達が気になったきっかけ 8. 日常的に医療的ケアを受けているか 9. 医療的ケアの内容 10. 身体障がいの種類 11. 聴覚障がい、音声・言語・そしゃく障がいの方のコミュニケーション手段 12. 身体障がいとなった主な原因 <p><ご家族や介助者について></p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 同居している方 14. 同居人数 15. 兄弟姉妹の障がいの認定の有無、人数 16. 就労状況（父母） 17. 就労していない理由（父母） 18. 普段の生活で介助状況 19. 主な介助者 20. 介助者の性別、年齢 21. 介助者が介助できない時の対応 22. 介助で悩んでいることや困っていること 23. 本人の不安や悩んでいること 24. 同じ障がいのある子の親との交流機会 25. 同じ障がいのある子の親との交流希望 26. 交流できない、したいとは思わない理由 <p><保育・療育・教育について></p> <p>（就学前）</p> <ol style="list-style-type: none"> 27. 平日の日中の過ごし方 28. 障がいにより利用できなかったサービス <p>（小学生以上）</p> <ol style="list-style-type: none"> 29. 平日の日中の過ごし方 30. 学校でどの学級に在籍しているか 31. 学校以外の時間の主な過ごし方 32. どのように過ごさせたいか 33. 障がいに対応できないことを理由に利用等できなかった活動 	<p>（すべてのお子さん）</p> <ol style="list-style-type: none"> 34. 保育・療育・教育に望むこと 35. 「えいぶる」の認知度と活用の有無 36. 活用して役に立ったと実感した時 37. 使いにくいと感じた時の理由 38. 高校、高等部卒業後の希望する進路 39. 進学や就職を実現するため必要と思うこと <p><障がい児の福祉サービス等利用について></p> <ol style="list-style-type: none"> 40. 障害福祉サービスの利用状況と利用希望 41. 障害福祉サービスの利用で困っていること 42. 福祉サービスの利用状況と利用希望 <p><住まいについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 43. 住まいの形態 44. 今の住まいはお子さんに適しているか <p><外出について></p> <ol style="list-style-type: none"> 45. 外出しやすくなるために必要なこと <p><災害時の避難について></p> <ol style="list-style-type: none"> 46. 避難について不安に感じることはあるか 47. どのような不安か 48. 避難行動要支援者名簿を普段から共有することへの同意についてどう思うか 49. 名簿の共有についてよく思わない理由 <p><権利擁護について></p> <ol style="list-style-type: none"> 50. 障害者差別解消法についての認知度 51. 合理的配慮についての認知度 52. 差別等の経験 53. 差別を受けたところ <p><地域での暮らしについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 54. 隣近所とお付き合いの状況 55. 本人の地域行事や活動の参加状況 56. いずれも参加していない理由 57. 本人にとって暮らしやすいまちか 58. （小学生以上の子の保護者）5年前と比べて障がいの子に対する地域の理解・認識は深まっているか 59. 障がい児向けの施策やサービスで特に充実が必要と思うもの
--	--

【障がい児(医療的ケア)調査】

<p><基本属性等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査票の回答者 <p><お子さんについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 医療的ケアを受けた年齢 3. 医療的ケアが必要となった理由 4. 治療中の病名 5. 現在の生活状況、介助が必要な方はその内容 6. 現在利用しているサービスの有無と内容 7. 必要だが不足と感じるサービスの有無、どのような点が不足と感じているか 8. 利用している公的制度 9. 主にどなたが医療的ケアを行い、一番対応が難しいものは何か 	<p><介護者について></p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 介護者の健康状態 11. 介護者のこころの健康状況 12. 介護者の休息の有無 13. 困った時や疲れている時の協力者の有無 14. 協力者はどなたか <p><災害時の備えについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 災害時に医療的ケアを行う備えはしているか 16. 地域や学校での避難訓練へ参加したことはあるか 17. 災害時に不安なこと
---	--

【施設入所の方用調査】

<p><基本属性等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査票の回答者 2. 年齢 3. 性別 4. 日常生活ADL <p><障がいの状況について></p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 身体障害者手帳所持状況、等級 6. 身体障がいの部位 7. 療育手帳の所持、判定 8. 精神障害者保健福祉手帳の所持、等級 9. 難病の有無 10. 発達障がいの診断経験と日常生活での支障 11. 医療的ケアの有無と医療的ケアの内容 	<p><住まいや暮らしについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 今後、どこで生活したいか 13. 施設を出て暮らすならどこの地域か 14. 今の施設で生活を続けたい理由 15. 地域生活に必要な支援 <p><障害福祉サービス等の利用について></p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 障がいの程度区分 17. 障害福祉サービスの利用状況と利用希望 18. 障害福祉サービスの利用に関して困っていること
---	--

【一般市民調査】

<ol style="list-style-type: none">1. 回答者の性別、年齢2. 地域3. 障がい者の問題や福祉への関心、きっかけ4. 関心をもったきっかけ5. 身近に障がい者がいるか6. その方の障がいの種類7. その方との交流の有無8. その方との交流の程度9. その方と交流がない理由10. 講座や講演会、交流の場、ボランティア活動の参加意向11. 障がいの理解度12. 障がい者への声かけ・手助け13. 実際に声かけや手助けはできるか14. 声かけできない理由	<ol style="list-style-type: none">15. 障がい福祉に関する用語やイベントを知っているか16. 地域社会の障がい者への差別・偏見の有無17. 差別・偏見があると思う理由18. 障がい者に対する理解を深めるために必要なこと19. 障がい者が地域や社会に参加するために大切なこと20. 障がい者を支援するためのボランティア活動の参加21. 必要と思うが、活動していない理由22. 必要ないと思う理由
---	---

調查概要

■ 調査概要 ■

1. 調査の目的

本調査は、うるま市障がい者福祉計画及び障害福祉計画の見直しにあたり、障がい者を対象に生活状況やサービスの利用状況等を把握するとともに、市民の障がい福祉に対する意識等を調査し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 実施主体

うるま市障がい福祉課

3. 調査対象者、抽出方法

- ・ 在宅の身体障がい者：身体障害者手帳所持者 1,700人を無作為抽出
- ・ 在宅の知的障がい者：療育手帳所持者 944人全数調査
- ・ 在宅の精神障がい者：障がい福祉課窓口来庁者及び就労支援事業所利用者に調査
- ・ 在宅の障がい児(手帳所持者とサービス受給者)：520人を無作為抽出
- ・ 在宅の医療的ケア児：過去3年間の障害福祉サービス支給決定に係る調査で把握した医療的ケアを受けている児童 51人全数調査
- ・ 施設入所者：施設入所支援の利用者 数ヶ所の施設に調査協力依頼
- ・ 一般市民：市内に在住する20歳以上の男女より2,000人を無作為抽出

4. 配布方法

- ・ 在宅の身体障がい者：身体障害者手帳所持者 郵送による配布・回収
- ・ 在宅の知的障がい者：療育手帳所持者 郵送による配布・回収
- ・ 在宅の精神障がい者：障がい福祉課窓口の来庁者及び就労支援事業所利用者に配布・回収
(回収は一部郵送)
- ・ 在宅の障がい児：郵送による配布・回収
- ・ 在宅の医療的ケア児：郵送による配布・回収
- ・ 施設入所者：施設入所支援の利用者 施設を通して配布・回収
- ・ 一般市民：市内にする20歳以上の男女 郵送による配布・回収

5. 調査期間

令和5年1月～令和5年2月

6. 回収状況

	配布件数	回収数 (有効回答数)	回収率
在宅の身体障がい者	1,700件	1,412件	53.4%
在宅の知的障がい者	944件		
在宅の精神障がい者	170件	64件	37.6%
在宅の障がい児	520件	266件	51.2%
在宅の医療的ケア児	51件	30件	58.8%
施設入所者	100件	92件	92.0%
一般市民	2,000件	816件	40.8%
合計	5,485件	2,680件	48.9%

7. 集計について

- ・各設問に示している「回答者実数」は、全員に回答してもらう設問では有効回答数と同数ですが、回答者を限定している設問では、その条件に合う人のみが対象となるため、有効回答数を下回っています。(例：介助を受けている人だけ回答する、地域生活への意向を望む人だけ回答するなど)
- ・集計では、小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率を合計しても100.0%にならない場合があります。
- ・地域別や性別、年代別といった「クロス集計結果」については、無回答を除いて表示しています。
- ・複数回答の設問については、回答数の合計が回答者実数を上回ることがあります。このため、比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・クロス集計表では、表側（「年齢別」や「手帳所持別」などに当たる部分）の無回答を省いて掲載しているため、表側の単純集計とクロス集計表上の縦軸総数が合わない場合があります。）
- ・集計によっては、回答者実数が10人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要があります。
- ・グラフや表では、選択肢を一部省略して表記している場合があります。(選択肢が長い場合など)

このアンケートは、身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者について共通の設問で実施していますが、障がい種別で集計しているため、分類に際し、以下の基準を適用しています。

- 身体障がいは、問9で、1級～6級を回答した方
 - 知的障がいは、問11で、A1～B2を回答した方
 - 精神障がいは、問12で、1級～3級、精神通院を回答した方、及び市窓口・事業所へ配布した方
- 「医療的ケア児調査」については、医療的ケアの状況等を把握する調査票とともに、「障がい児調査」と同じ調査票を配布し、集計分析を行っています。